

ゆずの風新聞

青ゆず、青ゆず。

令和4年
秋の始まり号
発行
馬路村農協



農協HP
はこちら

季節の移ろいとは早いもので、村のそこかしこから響いていた草刈機の音が少し落ち着き、青ゆずの収穫の時期になりました。
少し見ぬ間に小粒ほどの大きさがったゆずが、夏の日差しと雨により、ゴルフボールほどの大きさを超え、すくすくと育っております。
まだまだ日中の日差しは厳しいですが、畑には涼しい秋風が吹き、本格的な黄ゆずの収穫は10月末からですが、ゆず畑の横では収穫の準備の音や声が響き、小さな秋を迎えている様子です。

5月頃のゆずの様子



すみちゃんのバイリンガルコーナー

86歳



村特有の
バイリンガル用語が
たくさんあります。
あなたは
わかるかな？

Q あいがりひんがり
例) まあ、盆かしれんけど、あいがりひんがり、
人がくるねえ。

※答えは裏面に

「もつていって食べてあげよう」

「今度ハコ仕掛けに行くけど、見に来るか。」
ある日、川遊びの達人が声をかけてくれました。
「ハコ？」「ウナギよ。罾の箱つを仕掛けに行くけど、川の様子もあるき、3日後、行こうか。」
昨年、村外出身の私が天然ウナギを食べたことがない、という話をした時に達人のおんちゃんはそれはそれは驚いて「天然ウナギを食うたことがない?! よっしゃ、今度食わいちゃんうまいぞー。」と約束したことを覚えていてくれたようです。
とんとん拍子に話がすすみ、取材で同行することに。
おんちゃんの車に乗っていき安田川。車が止まったのは、遙か下に川が流れる道路ぶちでした。
ここかと聞けば、まずは罾へ入れるエサを捕まえるところから、だそうで、前もって仕掛けていたエサ捕獲用の罾を確認しに行くとのこと。
「おんちゃんあそこにおれよ。」そう言い残しておんちゃんはほぼ崖の様な斜面を下る下りて行つてしまいました。なるほど、私が着いて行つて転がり落ちることは出来ても二度と上がつて来れないだろう斜面です。残された私は罾を確認するおんちゃんを見守ったり、見つけたナナフシを観察したり...
「よしや、次行くぞ。」両脇に大荷物を抱えたおんちゃんがあつという間に斜面を上がつてきて、息をつく間もなく出発です。

ウナギのいそうなポイントへ着くと、エサの魚を入れたイケカンと箱つを持って川へおります。安定してる様に見えて足を乗せた瞬間石が崩れたり、思いがけず石の表面が滑ったり、河原を歩くだけで足の疲労はとんでもないことに。「ここからが勝負ぞ。」ひよいひよい進むおんちゃんは箱つを仕掛ける場所を何カ所か決めて、よりウナギが入りやすいよう水の流れをチェックしていました。場所と仕掛け方を決めると川へ入って箱つを沈めます。川底の石をゴロゴロ集めてきては、ウナギにあやしまれないよう箱つを隠していきます。この隠し方には個性が出るようで村のおんちゃん達は設置場所や石の積み方で誰が仕掛けた罾が見分けれるそう。
ひとまず罾の設置は完了、あとはウナギが入るか入らんか、続きは次回の新聞で。



絵日記 コンテスト

第二回

なかなか遠出が出来ないような、このご時世。せつかくの夏休みなのに子どもたちは楽しくないんじゃないか。馬路村からも子どもたちへ、なにか「楽しい」を届けられないか。
そんな考えから『ごつくん馬路村』が飲みたいばあ飲める。第一回夏休み子供絵日記コンテスト』を開催いたしました。

審査会が開かれ、最優秀賞、優秀賞、そして本来は無い特別賞の枠も追加して、計9作品を選ばせていただきました。最優秀賞作品の作者の方にはごつくん240本(ごつくん10ケース)、優秀賞、特別賞の方にはそれぞれ24本を送らせていただきました！
受賞作品は、以下のQRから確認いただけます。その日のエントリー作品につきましては後日、同ページにて掲載させていただきます。
ご応募いただきました方、本当にありがとうございました。



投稿作品
掲載ページ



最優秀賞作品



優秀賞作品

平瀬くんと後。

地域おこし協力隊の平瀬くんは、村に来て1年と4カ月。農協の営農班として先輩の指南を受けながら、日々奮闘しています。そんな平瀬くんはミノー（ルアー）を自作するほど器用で、アメゴのルアー釣りをするのが趣味とか。上手く村を楽しみながら過ごしており、休日になると営農班の笹岡くんと、川でアメゴ釣りをする姿をよく見ます。家では小規模ながら家庭菜園もしており、ナス、オクラ、トマトなどその時の季節野菜を育てています。釣りや栽培など、自然と関わるのが好きらしく、ゆくゆくは農協でゆずの育成を勉強しながら、自分のゆず畑も持っていたいと話していました。平瀬くんのこれからをお楽しみに。



ゆずの可能性を探る

「ゆずしぼり」部

馬路村農協うまごはん部です！今回の料理は『ゆずしぼりで作るマグロと鯛のカルパッチョ』のレシピをご紹介します。

《材料》

(A)ゆずしぼり大さじ1、オリーブオイル大さじ3、塩胡椒好み、パセリ適量。

●マグロ 100g ●鯛 100g

【作り方】

1、(A)を順に入れ、混ぜる。

2、マグロ・鯛を食べやすい幅に切り、お皿に交互に並べる。

3、マグロ・鯛を盛り付けたお皿に1で作ったソースをかける。

ゆずの香りと酸味がパセリとオリーブオイルのソースに絡み、刺身を爽やかにしてくれます！今回はマグロとタイを使っておりますが、サーモンなどの魚でも美味しく作ることができます！是非、お試しください！



Instagramのレシピ記事

石橋くんと田舎。

馬路村の奥にある相名地区は寒暖差が激しくゆず農家と兼業で米作りをしている農家さんが多数おります。

その中で農協に勤めている石橋夫妻（ヒロシさん・エミさん）は無農薬でお米を育てて今年で3年目になります。

最初は「お米を育てたい」ということで、農薬を使わず田植えから稲を縛るところまで、自分達の手でしていました。ですが、小さい畑でも2人で作業して、大変だったそうです。最近では田がもう一枚広がり、収穫の時だけはバインダー（稲を刈って結ぶ機械）を使うようになったとか。

現在、石橋さんが育てているものはゆず畑、米、唐辛子と多岐に渡り、今年はスイカも育てて楽しんでいます。

数多くの畑を管理するのは大変ですが、その動力は「やりたからやる！」に尽きるそうで、畑に触れている時の2人の表情も黄金に輝いています。



ほろ、御礼の気持ちです。

馬路村を応援（ふるさと納税）をしてくれたお客様に、役場より毎年暑中見舞いを出させてもらっています。村の風が届くようにと、馬路村の杉の間伐材から作られた木のうちわが同封されており、うちわを受け取ったお客様から「毎年嬉しい贈り物がありがとうございます！遠くから応援しています！」「今年もぜひリピートしたいです。」など嬉しいお声をいただいております。こちらから御礼の気持ちを贈っているはずが、逆に御礼の連絡がたくさんくることに感謝がやみません。



格闘 スズメバチ

農協の寮にスズメバチの巣ができていますと近隣住民から一報があり見に行くと、キイロスズメバチの20cmくらいの丸い巣が…。早速、選抜部隊が次の日の夕方退治に動きまわります。（夕方が活動が落ち着く時間帯らしい）

「あれくらい大きな巣なら自分らあてでどうにかするしかない。」長袖長ズボンの上からカッパを着込み革手袋などの重装備をした農協専務が言います。作戦としては3mくらいの距離から長い竹で巣に穴を開け、穴に殺虫スプレーを吹き込むらしい。屋根の上で長い棒を扱うのは危ないんじゃないかと心配していたのをよそに、勝負は一瞬で決着がつかしました。右手の殺虫スプレーで牽制しながら、左手の竹で突き、途中から両手にスプレーを持ち、怒涛の奇襲が成功しました。専務は「楽勝楽勝」と笑いながら家の周りに蜂がいないか確認します。当然のように村には専門の業者がいるわけではありませんが、自分らでできることは自分らです。村民の生き力がここにここにあります。



おーの嬉しい

おたのしみパーティー

なんでもハガキ

ご注文とか、おーの嬉しいとか、もっと頑張れとか、なんでも使えるハガキです。

地元の高知県を思い出しました。とて元気なもらいます。

これから高知の味を忘れないで頑張ります。

美味しい商品を作って下さりありがとうございます。

これから応援しています。

（以下）以下の資料をご希望の方は（○）を付けてください。

すみちゃんの86歳

バイリンガルコーナー

A) 「あいがりひんがり」 = 交互に。交代して。「まあ、あいがりひんがり来るねえ」

馬路温泉

つるつるのお湯でゆったり。食事、宿泊もできます。

電話番号 0887-4412026

予約専用フリーダイヤル 0120-4412026

馬路温泉 HP

森を元気にする会社 エコアス馬路村

エコアスの木のかばん

http://www.ecoasu.co.jp/

編集後記

今年の夏も終わりを迎えるようになっています。私は初めての鮎釣り（鮎は釣れてないです）をしたり、川で泳いだり、1人でたこ焼きパーティーをしたり、10年ぶりにゴルフの打ちっぱなしを再開したり、自分なりに充実してたのかなと思います。川泳ぎといえば、朝日出地区の橋の横で水深5m程はありそうな深い場所を見つけました。シュノーケルと足ひれをつけて底まで潜ろうと何度も挑戦したのですが、息が続かず断念。ですが、この夏一番の大自然に浸れました。皆様は今年の夏はいかがでしたか？